



CCT (Complex Cardiovascular Therapeutics) 2018 が

2018年10月25日（木）～10月27日（土）に

神戸ポートピアホテルにて開催されます。

当院からは診療支援部 野口 幸 副部長が

学術発表されますので、紹介いたします。

CCT

Complex Cardiovascular Therapeutics 2018

2018



Coronary

Dates **October 25** thu.- **27** sat., 2018

Venues Kobe International Exhibition Hall
Portopia Hotel, Kobe, Japan

Second
Announcement

CCT Website  <http://cct.gr.jp/>

Challenge and
Innovation 

Coronary

Peripheral

Surgical

Structural Heart Diseases

Co-medical

Critical hand ischemia(CHI)を発症した透析患者に EVT が有効であった 1 例

医療法人 西の京病院 診療支援部 臨床工学科¹⁾ 透析センター²⁾ 循環器内科³⁾

医療法人 育和会 育和会記念病院 循環器内科⁴⁾

野口 幸¹⁾ 市谷和也¹⁾ 益田百合子¹⁾ 松田竜馬¹⁾ 吉岡伸夫²⁾ 福井寛人³⁾ 齊藤精久³⁾

高比康臣³⁾ 河原田修身⁴⁾

【症例】70歳代男性。2017年12月に左上腕に内シャント形成術を施行。2018年3月に左手の冷感・疼痛を伴う第2指DIPに潰瘍を認め動脈造影しUlnar arteryのdistalで100%、Radial arteryは90-99%のdiffuse lesionを認めた。3Fr sheathをBrachial arteryからanterograde approachでulnar arteryにEVTを行った。

Cruiseとmicro-catheterで比較的スムーズにwireを通過することができた。micro-catheterより先端造影を行うと第2指のPalmar digital arteriseとProper palmar digital arteriseに欠損像を認めた。Ulnar arteryにWALKER 1.0×5.0mm、Coyote 1.5×20.0mm、さらにCoyote 2.0×40.0mmで拡張しUlnar arteryとPalmar digital arterise、Proper palmar digital arteriseの良好な血流を確認し終了とした。さらに末梢動脈血流改善の目的でプロスタグランジン製剤と手背に硝酸薬テープを追加、第2指の潰瘍も改善し経過良好である。

【結語】透析患者は末梢動脈疾患を有している患者も多く、内シャント形成術を期にCHIを合併することがある。今回、CHIを発症した患者にEVTを施行することで内シャントを温存したまま手指の潰瘍形成が改善した症例を経験したので報告する。